

地域が主役

ひっとプラン港北

「ひっとプラン港北」(港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画)は、「ひろがる」「つながる」「とどく」をキーワードに、地域と行政、事業所等が協力して「誰もが安心して暮らせるまち港北」を目指す計画です。この通信では地域での取組の一部を紹介していきます。

今回は「みんなの居場所」で地域が「つながる」です。



障がい児者のよりどころ『ふれんど』(日吉地区)

月に1回開催される、障がいがある中高生、そして社会人になっても引き続き集うことができる“居場所”です。開催日の土曜日の午後、会場にこどもたちが集まり、それぞれが支援者と一緒にゲームや折り紙、絵を描くなど自分の好きなことをして時間を過ごします。活動に参加している支援者は地域の方ですが、専門機関の職員の助けを得て、こども一人一人の個性にあった対応をこころがけています。地域に住む障がいがあるこどもたちがこのような場所で近隣の住民と知り合い、声をかけあえる関係になることは、主に災害時など、いざというときの安心感につながっています。多くの方にこの活動を知ってもらいたいと思います。



ふれんどの様子

子育てサロン「よしだっこ」(新吉田地区)

小さなお子さんを育てるお母さんを地域ぐるみで応援したいという住民の思いで始まり、3年目を迎えました。今では地域の母親同士の出会いと交流の場として地域に定着しています。開催日には会場近くにのぼり旗が設置され、入口で支援者が迎えます。温かい心遣いが初めて参加する方にも入りやすい雰囲気をつくっています。手遊びや工作、自由遊びなどをするうちに、初めて会う親子も徐々に馴染み、先輩ママが新人ママの相談にのるなど、自然な交流が行われます。「出かけられる場所があることが嬉しい」「『よしだっこ』で知り合いがたくさんできた」というお母さんの声に、支援者もやりがいを感じています。



赤ちゃんでも参加できます

楽しいイベント盛りだくさん

毎月第2木曜日の午前中に新吉田中央町内会館で開催しています。

元気づくりステーション『ふらっとサロン』(新吉田あすなろ地区)

町ぐるみで認知症の方の見守りに取り組んでいる新吉田あすなろ連合町内会が介護予防にも力を入れようと、立ち上げました。現在は連合町内会館を利用し、体操を中心とした活動を月2回行っています。自身も近隣にお住いの講師が、1つ1つの動作に対する効果などをユーモアたっぷりに紹介し、和やかな雰囲気ですべてを進めていきます。時には参加者のリクエストも取り入れながら、座ったままの体操、手ぬぐいや缶などを使う体操など変化のあるプログラムで、時間はあっという間に過ぎていきます。介護予防だけでなく、地域の方の大切な交流場所にもなっているこの会に、多くの方々の参加を期待しています。



「ふらっとサロン」みんなで楽しく体操します。

「ひっとプラン港北」に関する問合せ先

港北区福祉保健センター 福祉保健課 事業企画担当
☎ 540-2360 ☎ 540-2368 ✉ ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp
HP <http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/fukuho/fukuhokeikaku.html>

港北力発見通信

港北区の元気のもと発見!

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町26-1 Tel.045-540-2247 Fax.045-540-2245
地域力発見プロジェクト事務局：港北区地域振興課地域力推進担当 福祉保健課事業企画担当
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/sinkou/kouhokuryoku/>



◆パンダ学級

NPO法人ポケットでは、親子の仲間づくりや保護者が明るく生き生きとした子育て期をおくることを支援するために、1歳～3歳児までの親子を対象に区内で年齢別に4つの親子学級を開催しています。

この日は、2歳から2歳半児の親子対象。おもちゃで自由遊びした後はみんなで体を使ったり歌を歌ったり、新聞紙を使った遊びでは元気いっぱい動き回ったり、びりびりに破いたり・・・うちではなかなかできない親子遊びを楽しんでいました。

参加しているお母さんたちからは「多くの同年代の子どもと触れ合うことができるのが良い」「親子で楽しい時間を過ごせるのが良い」という声を聞くことができました。子どもを通じて地域での仲間づくりができる親子学級は、子育て期の親にとって大事なゆとりの時間を提供してくれています。



◆今後の活動

4つの親子学級は年齢別に参加者募集を行い約4～5ヶ月でそれぞれ7回ずつ活動します。今年度の募集は終了していますが、今後も活動を続けていきますので、どうぞよろしくお願いいたします。

【問合せ】

特定非営利法人ポケット
電話：090-7260-1122 (担当：伊藤)
メールアドレス：npo.pocket@docomo.ne.jp

箕輪町災害対策連絡会

まずは回覧が回る範囲での活動ができるように

■計画の見直し

箕輪町災害対策連絡会では、今年度から箕輪町AAA事業（安全で安心明るい町づくりを推進するための新しい防災計画）に取り組んでいます。これまでに策定した防災組織をより実践的に運用できるように、区割りや人員編成を見直すとともに町会ごとの会員名簿の充実、町内会自主防災訓練の実施、防災講演会（勉強会）などを計画しています。

■地域触れ合いミニ防災訓練開催

各いっとき避難場所にて500人の方の参加により訓練が行われました。初めての試みでしたが反省点なども確認でき、今後積み重ねていく中でより良い体制を構築していきたいと思っています。

■今後の活動

直近の活動は、宮城県七ヶ浜町復興支援ボランティアセンターボランティアコーディネーター星真由美さんをお迎えし、先の震災体験をお話いただきみんなで交流を深める防災講演会（勉強会）を行います。

いざというときに助け合えるため、まずは回覧を回す範囲での活動に取り組んでいきます。

【問合わせ】

箕輪町災害対策連絡会
事務局長 小泉義行
電話:045-565-4714



いっとき避難場所での様子

ちびっこシアター実行委員会

ペープサートで演じる楽しみ

■テレビとは違う楽しさ

私たち「ちびっこシアター実行委員会」は、一流の舞台芸術をできるだけ多くのこどもに楽しんでもらうために、4年前に発足し活動しています。年一度の港北公会堂でのひとみ座による人形劇上演は、小さなこどもに大人気です。またおとなのために年2、3回、元フジテレビアナウンサー小林大輔さんの朗読会を開き、磨き上げられた小林さんの朗読の世界に浸っています。

■うちわ型の紙人形

それ以外にも、受け身で楽しむだけではなく、自分でも人形を作り演じるための「ペープサート」のワークショップを親子むけと指導者むけに実施しています。

「ペープサート」はうちわ型の紙人形で、誰でも簡単に作って遊ぶことができます。工夫次第で、いろいろと応用もできるので、2歳ぐらいから年齢に合わせて楽しめます。ペープサートを使って演じるのは、人形劇を観るのとはまた違った楽しさがあります。

ワークショップを指導して下さるのは、ひとみ座の石原ひとみさんです。石原さんの、人形劇俳優としての経験に裏打された指導には定評があり、毎回参加された方に好評です。

■今後の活動

今後、保育に関わる方たちと協力して、日々こども達と向き合う方々を対象にワークショップを実施する予定です。

【問合わせ】

ちびっこシアター実行委員会 代表 亀岡敦子
電話:045-561-2758



みんなで演じてみました



練習中の舞台裏



ペープサートづくり 親子で参加

平成26年度新任自治会町内会長説明会を開催しました。

自治会町内会は、一定の地域に住む人々によって自主的に作られる組織です。その活動は、地域の防犯・防災や様々なレクリエーション活動など安全・安心な住みよいまちづくりのために、なくてはならない大きな役割を果たしています。しかし最近では、近所づきあいを敬遠したり自治会町内会の活動にメリットを感じない人が増え、自治会町内会への加入率が徐々に減少しています。

★“カフェミズキー”で気軽に語り合う

こうした課題や町内会役員としての悩み、疑問について話し合い、現状を認識し今後の取り組みに役立ててもらおうと、気軽に語り合うワークショップ「ワールドカフェ」を行いました。

ワールドカフェでは、5つのテーブルとテーブルごとのテーマが設定され、参加者は自分が話したいテーマを選んでテーブルを移動していきます。「カフェ」のようなリラックスした雰囲気の中で、少人数で自由な話し合いが続き、あっという間の2時間でした。

★参加してよかった。

「色々な方の意見を聞くことができ有意義…」「テーマごとに各自治会での悩み、問題点、対策など知ることができ大変参考になった」などたくさんの感想をいただきました。



第1部の説明「地域と行政の連携・協力に向けて」



5つのテーマについて話し合う



テーマごとに少人数で話し合い



「港北ほくほくフェスタ」を開催しました!(10月24日)

■第1部 第32回港北区社会福祉大会

永年にわたって地域の社会福祉活動等に携われ、ご尽力いただいた方々への感謝の気持ちを込め、個人75名と4団体の皆様に表彰状をお渡ししました。

■第2部 区民フォーラム

テーマ「認知症になっても安心、安全、穏やかに暮らせる町づくり」
コーディネーター:田園調布学園大学人間福祉学部 村井祐一教授
認知症の方を支える3つの事例紹介と意見交換を行いました。

最初に、今年の6月に認知症カフェをオープンした都筑区 荏田南地区の活動が紹介されました。開店前の居酒屋を無償で借り受け、どなたでも気軽に参加できる交流カフェを月1回行っています。「行政に頼らずに自分たちでできることをとどんどんやっていきたい」との思いで、検討からわずか3か月で立ち上げたそうです。

続いて、日吉地区で開催されている認知症、転倒・骨折予防の交流サロン「なごみの会」の活動が紹介されました。回を重ねるごとに参加者が生き生きとし、支援者も励まされているとのこと。地域で高齢者を見守る活動の大切さも強調されました。

また、新吉田あすなろ地区、新吉田地区の徘徊高齢者の早期発見・保護のためのネットワーク「さがしてネット」の取り組みが披露され、今後も他の地域に連携の輪を拡げていきたいとの思いが伝えられました。

地域の方々の熱意や工夫によって続けられている活動が認知症の方々を支え、さらに地域のつながりづくりにもなっていることを実感しました。会場にお越しいただいた方々にとっても参考になることが多かったのではないのでしょうか。



港北ほくほくフェスタの様相

その他の団体の活動予定

○パネル展 日吉台地下壕

12月1日(月)～28日(日)
港北図書館
主催:港北図書館・日吉台地下壕保存の会
直接港北図書館にお出かけください。
問合せ:421-1211(港北図書館)

○横浜港北区民吹奏楽団

Winter ConCerto 2014～あったかい～
12月14日(日)13:00～(開場:12:30～)
港北公会堂(入場無料)
主催:横浜港北区民吹奏楽団
横浜市立新田中学校吹奏楽部との共演もあります
問合せ:http://ykwo.net/
contact@ykwo.net

○こうほく第九演奏会

12月21日(日)13:30～(13:00開場)
港北公会堂
主催:港北第九合唱実行委員会
問合せ:545-4578
(担当者 田中)



○クリスマス会または手芸講座

12月25日(木)10:00～11:30
(雨天時は要問合せ)
稲垣さん自宅(新吉田町4146)
主催:まちの縁側新吉田
問合せ:593-3692
(担当者 稲垣)



○インターンシップリーディング公演

12月25日(木)13:30～(13:00開場)
菊名コミュニティハウス
主催:スターリンクス
問合せ:045-401-4964
(菊名コミュニティハウス)

○港北シンフォニーコンサート

港北区民交響楽団第55回定期演奏会
平成27年1月31日(土)14:00～(開場:13:20～)
横浜みなとみらいホール大ホール(入場無料)
主催:港北区民交響楽団
問合せ:090-9139-1707(担当者:村井)
090-1252-1607(担当者:富山)
HPアドレス:http://www.ne.jp/asahi/poco/a-poco/